

The Weekly Journal of Tokyo Rinkai Rotary Club



2020年6月24日【第1174回】



クラブ会長ターゲット

「友情を育み、地域社会に貢献する」
"Foster friendships,
Contribute to the community."
2019-2020年度
東京臨海ロータリークラブ会長
佐藤正樹



国際ロータリーテーマ

「ロータリーは世界をつなぐ」
"ROTARY CONNECTS
THE WORLD"
2019-2020年度
国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー

立：1994年8月8日
長：佐藤正樹
副会長：高橋映治
幹事：杉浦孝浩
会報委員長：勝間田健一

6月24日の卓話

6月17日の出席率

7月1日の卓話

最終例会
「退任挨拶」
(12:30~13:40)

会員在籍者数 44名
会員出席者数 33名
会員欠席者数 11名
本日の出席率 78.57%

新旧役員引継式
「新年度初例会」

《第1173回 例会報告 2020年6月17日》

司会：佐藤大輔会員



■点鐘：佐藤正樹会長

本日は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、「ロータリーソング」・「四つのテスト」・「ロータリーの目的」の唱和は行いません。

■来賓・ゲストスピーカー紹介：佐藤正樹会長

らいおんは一と理事長 及川信之様
ガバナー補佐 田村純治様
分区幹事 皆川英久様

■ビジター紹介：

本日は、いらっしゃいませんでした。

■来賓挨拶



・ガバナー補佐 田村純治様

こちらのクラブは人数が多く、あまり見ない光景で素晴らしいと思います。一年間お世話になり、ありがとうございました。引き続きよろしく願いいたします。

・分区幹事 皆川英久様

一年間ありがとうございました。コロナウィルスの影響で3か月間ほとんど仕事が無かったのですが、6月は1か月に行事が凝縮されたように集中しまして、最後だけ忙しい一年間になったと思います。皆様の御協力があって一年間やってこられました。本当にありがとうございました。



■会長報告：佐藤正樹会長



・らいおんは一と理事長 及川信之様に活動支援金を贈呈させていただきます。

・ご挨拶：らいおんは一と理事長 及川信之様

みなさんこんにちは。皆様方には日頃より本当にお世話になっております。今日いただいた支援金も明日から子供たちのために使わせていただきたいと思います。らいおんハートの活動報告に詳しくありますが、4月から学校休校になって、お昼ご飯を食べられないという子供に今日で108日目ですが、延べ人数で683名の子供たちにお昼食堂ということで続けています。これからも活動を続けていきたいです。子供たちの心と食のケア、そして、遅れてしまった勉強とやることは盛りだくさんですが、また皆様の御支援をいただきながら頑張っていきたいと思っております。最後に、毎年催しております高校進学フェアですが、合同説明会は中止になりました。中学生15,600人にパンフレットを配りますので、是非皆様の宣伝PRと共に、ご支援をいただくと幸いです。今日はお時間をいただきありがとうございました。

- ・本日の例会は、卓話はなく1時までとさせていただきます。1時5分より合同クラブ協議会を開催いたしますので、皆様この会場にお残り下さい。
- ・新本ガバナーからのご連絡です。新型コロナウイルスに対する医療貢献事業フェイスシールド寄贈の件ですが、各クラブから4,599,300円のご支援をいただきました。地区補助金より905,080円を拠出し、合計5,504,380円にてフェイスシールド44,160個(東京37,440個、沖縄6,720個)を購入いたしましたのでご報告いたします。ご協力いただきました皆様に深く感謝申し上げます。東京都医師会と沖縄県医師会よりお礼状が届きました。



■幹事報告：杉浦幹事

- ・当クラブ例会は、10月までクールビズ(上着着用)です。
- ・次週6月24日(水)は、今年度最終例会です。お昼の例会に変更しています。
- ・日本のロータリー100周年記念ピンバッジの再度の購入依頼です。購入頂ける方は、6月24日までに東京臨海RC事務局宛、お申し込みくださるようお願い致します。
- ・6月の定例理事役員会報告を6月4日会員皆様に送信しました。
- ・ロータリーの友5月・6月合併号は、6月3日にメールボックスに配布しました。

■委員会報告



- ・クラブ基金(佐藤大輔基金活性化副委員長)
 - ◇鈴木孝行会員より、クラブ基金に多額のご寄付を頂きました。
 - ◇「クラブ基金のご案内」を作成致しました。会員皆様のメールボックスに配布しました。



■出席状況報告：櫻田会員
⇒詳細1頁バナー下に掲載。



- ニコニコBOX報告：白幡委員
(ご意向)1年にわたり大変お世話になりました。東京臨海ロータリークラブの益々の御活躍を期待しております！：田村純治ガバナー補佐・皆川英久分区幹事（東京江戸川中央RC）
(ご意向)ガバナー補佐 田村純治様、分区幹事 皆川英久様、本日はお忙しい中、お越し頂きありがとうございます。：佐藤正樹会長、高橋副会長、杉浦幹事、須藤会員、尾身会員、坂本康朋会員、榎本会員、酒井会員、村社会員、井上会員、小林会員、斉藤会員、白幡会員、田村会員、入澤会員、篠塚慎之介会員、坂本秀夫会員、櫻田会員、中村会員、山田会員、柴田会員、白井会員、大西会員、本多会員、小松会員、太田会員
(ご意向)妻の誕生日に素敵なお花を頂き有難うございました。：勝間田会員

【28件 74,000円 今年度累計 1,700,000円】

- 卓話 本日、卓話はありません。1時5分より「今年度第3回・次年度第1回合同クラブ協議会」を開催いたします。
■点鐘：佐藤正樹会長

第3回クラブ協議会

(次年度第1回クラブ協議会)

《2020年6月17日(水)13:05~15:00》

司会 杉浦孝浩幹事・坂本康朋幹事エレクト

■開会挨拶・来賓紹介

来賓：ガバナー補佐 田村 純治 様
分区 幹事 皆川 英久 様



■開会挨拶 佐藤正樹会長

今日開催の狙いは二つあると思っております。まずは、今年度、役割を全うしていただいた委員長、各委員の皆様がこの一年間どんな思いで委員会に携わったのかということと、どんな役割があるのかを発表いただいて、次年度の方々にそのイズムをお伝えさせていただきたいと思いますのでよろしくお願いたします。改めまして、今年度の各委員長、委員の皆様、本当に諸々のご尽力ありがとうございました。まだ終わっておりませんが、本当に皆様のお陰を持ちましてここまでやってこれることができました。今日を入れてあと2回ございますが、最後まで皆様引き続き、ご支援ご協力の程、よろしくお願いたします。

■次年度体制・計画発表



■ 佐久間裕章会長エレクト

次年度、第27代の会長を拝命いたしました佐久間と申します。皆様1年間よろしくお願ひいたします。まず、次年度の方針と計画です。皆様ご存知だと思うのですが、増強無くしてクラブ繁栄なしということで、増強一本で動こうかなと思っております。というのは、7年前に入会した当時、34名の会員がいて運営がギリギリだと高橋パスト会長から懇々と話を聞いておりました。増強に関して皆様はあまりイメージないと思います。特にチャーターメンバーの方たちは、社会奉仕がメインで当クラブに入会された方たちが多いと思うのですが、今経営者現役の若手の会員の皆様の入り口は社会奉仕が目的ではないのではないのかなと思っております。私も目先の利益だけを求めて入会致しました。しかし、3年前くらいからクラブ奉仕や社会奉仕に参加するようになりました。やはり、その貴重な時間というのは会社あつての活動です。7月の初例会には3名の入会式を控えており、8月も3人を予定しております。この6人の入り口もやはり会社経営の相談であつたりします。

この相談に乗る形で、入会へとつなげています。臨海RCは5年前に40名を突破いたしました。以前、50名クラブだった時代が20年ほど前にございます。この50名クラブを次年度に達成します。これも皆様のお力があれば達成できると思っております。50名クラブは東分区の中で2クラブしかありませんので、我々臨海RCが3クラブ目にならなければいけないと考えております。やはり会員数が多ければ多いほど社会奉仕参画にもつながりますし、クラブ活性、地域活性につながると思っておりますので増強について、皆さんで協力していただければと思っております。また、我々は、参加型の社会奉仕活動が次年度も盛りだくさんでございまして、人数が少ないと、負担が増え、やらされている感たっぷりになり、どんどん会員が減っていくという負のスパイラルに入っていくと思っております。どのクラブもネガティブな考えです。皆さん会社を運営されていると思っておりますが、会社の状況が良くないときに、口開けて待っているという方はいないと思っております。やれることをやる方ばかりだと思っております。臨海RCも会員が減れば減るほどみんながネガティブになっていって、出席率も下がって衰退していくと思っておりますので、必ず50名クラブを作らなければならないと思っております。また、5か年計画の中で、クラブ拡大の話もございまして、次々年度には衛星クラブを設立したいなと思っております。会員数は8名以上で可能とのことなので、新しいクラブを設立するにあたり、その前段階のクラブを作りたいと思っております。私は現役の青年会議所のメンバーで、あと5年残っております。5年の間に青年会議所のメンバーも最終的には入会してもらって流れを作ります。7月に入ってくるメンバーも現役の青年会議所

メンバーです。まだ10年残している者や、次年度理事に立候補する予定の者もあり、人脈を持った者が新たに入ってきます。これまで、臨海RCには150名が名を連ねてきましたが、109人が辞めていきました。臨海RCのカラーだと思い、やる気ある人間がやる気のある人間を集めてくるということだと思っております。ですので、皆様もお持ちの人脈を全て捧げる気持ちで増強をお願いいたします。ただ、気を付けなければならない注意点は、ロータリーの口の字も知らない者が増えます。既存のメンバーにはぜひ世話役になってもらえればこのクラブはもっと活性していくのではないかと思いますので、皆さん、一年間ご協力をお願いいたします。また、計画といたしましては、12月25日に第一回江戸リバークリーンフェスタを我々が筆頭となって行なうイベントがあります。参加予想人数は500人強ですので、臨海RCを皆様にアピールする機会になると思っております。また11月には300名規模の第二回パラボールフェスティバルを臨海西さんと共催していきたいと思っておりますので、皆様ご協力をお願いいたします。そして引き続きらいおんハートの支援をさせて頂きたいと思っております。これだけ素晴らしい社会奉仕をやっているクラブですので、ぜひ、周りの皆様の巻き込んで盛り上げていきたいと思っております。だからこそ、次年度会員増強を皆さんとしていきたいと思っております。上半期には48名体制となってまいります。皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

■ 今年度担当者から今年度の活動実績と次年度への引継ぎ事項報告



■ 佐藤正樹会長

今年度の振り返りと次年度への引継ぎをいたします。私の年度のターゲットは、友情を育み地域社会に貢献することをもって活動してまいりました。私の中で三つのことに重点をおいていました。一つ目は自クラブの皆さんとの親睦、臨海3クラブの方々達との親睦を図ること、2つ目に50名体制に向けて増強、最後に社会奉仕活動ということで、オレンジボール大会を開催したり、らいおんハートさんへ

の協賛、パラポールフェスティバルへの共催といった様々な活動をいたしました。期初に鈴木クラブ奉仕委員長にお力添えをいただきまして、委員会構成表の刷新を26年ぶりに行い、各委員会の明確化をいたしました。臨海RCの定款・細則を変更いたしました。今回、残念ですが退会者が3名出てしまうということとなりました。コロナウィルスの影響で3月から三か月間丸々活動が出来なかったことは非常に悔やまれることでございます。今年度に関しましては、会費未納者が0名となっており、皆様、ありがとうございます。次年度に関しましては、佐久間会長であれば何の問題もないと思っております。私自身もパスト会長として50名クラブの実現へ向けてサポートさせていただきたいと思っておりますので、引き続きよろしく願いいたします。



■高橋映治副会長・国際奉仕委員会バギオ基金委員
副会長はクラブ運営において会長の決断と幹事の実行を補佐する仕事であります。後半にさしかかり予想もしないような緊急事態が起きたので、緊急対応の連続でした。3役で決めることが非常に多かったです。次年度はそのようなことがないよう祈っております。次年度も3役でLINEグループなどを活用していただくことをお勧めいたします。バギオ基金につきましては、現在ですが、442,000円で、昨年実績が732,000円なので、まだ足りていません。例年ですとこの時期までに募金依頼をいたしますが今年度はできませんでした。次年度のご担当は斉藤さんですので、巻き込んでいかれますと思います。また、ロータリーの友5月6月合併号に詳しい記載がございますので、次年度の募金についてよろしく願いいたします。



■杉浦孝浩幹事

引継ぎについては引継書をお渡しいたしますので熟読してください。今年度はもちろんこれまでの幹事を見習い、事務局佐藤さんと連携をして滞りない運営を心掛けました。今年度新たに取り組んだことといたしましては、フードロス無くそうということで、東武レバントの飯岡さんと連携をして毎週日曜日までに例会出欠確認を実施いたしました。月曜の午前中までに人数を確定することをしました。次年度の引き継ぎと致しましては、年度の前半にイベントが詰まっていますので、事務局、3役での連携が必須となりますので、皆さんを巻き込んで一人で背負い込まないことをお勧めいたします。それから、毎月理事役員会がございますので司会進行務めてください。またできれば当日に議事録を作成することをお勧めいたします。分区の活動も多いので、分区幹事とも連携が取れるようにコミュニケーションを図ってください。ガバナー公式訪問や会長幹事会など地区との調整が必要となることもあるので、大変かと思えます。また、会員数が多いので、出欠の連絡や提出物の期限の管理が非常に苦労いたしますので、会員の皆様、ご協力をお願いいたします。



■クラブ奉仕委員会 鈴木孝行委員長
先ずは今年度の活動実績です。25年間の委員会

構成の良き部分と改善すべき部分を見極めて組織構成を変更いたしました。我々のクラブは当時の江戸川RCのものを全て踏襲しておりましたので、現実今の時代にそぐわないものもありました。増強委員会とは一体何をするのかというところでみますと、諸団体が様々な交流を求めて、良いと見込まれる人材を20代からピックアップしていくことをしました。変更の部分では、クラブ研修リーダーを移動したり、会員増強委員会、会報IT委員会を廃止し、5委員長から4委員長へし、4セクション7部門だったものを4セクション8部門にいたしました。今の臨海RCに合ったものに変更いたしました。これがクラブ奉仕委員会の大きな出来事です。増強は素晴らしい結果となりました。委員の方一人当たり一人を入会へと導いてくれました。そして、自クラブ活性へ向けて信頼関係を築くべく、親睦を深めることで職業奉仕活動が出来たことで新入会員が多かったのではないのでしょうか。新入会員に役割を与えて協力してもらいました。団結力の強化が見えたかと思います。今年度は活動自粛期間がありましたので、潤沢な資金があります。次年度にどう活かすか楽しみにしております。次年度への引継ぎと致しましては、クラブ奉仕委員会の再編成を行いました。当然ながら、クラブ奉仕委員長が変更することは可能ですが、良い所は残していただきたいです。特に、諸団体交流委員会、新会員ピックアップ増強チームについては必ずお願いしたいと思います。また、二次会構成委員というものを作りました。若い会員が多くなると、ロータリーから外れてしまう出来事が沢山できますが、やはりそこに節度をもっていこうという形で運営していただければと思います。また、出席向上委員会と称しまして、出席不良者連絡担当を設けました。次年度は私が担当です。今回色々な形で新しい臨海RCが見えてきたかなと思っております。楽しみにしております。ありがとうございました。



■クラブ奉仕委員会
ロータリー情報（クラブ研修リーダー兼務）

齊藤実副委員長

今年度は家庭集会を5グループに分け小人数で本音で語ろうということ、そして基本に戻り4つのテストということテーマに行いました。全員が内容は覚えてくれたのではないかと思います。新メンバーは何も知らなくて入会しますので、ロータリーのこれまでの歴史の基本的な流れは知っておいてほしいと思います。また、新入会員歓迎会も3名集まると行いますので、次年度も家庭集会と歓迎会は開催してほしいと思います。次年度は私がバギオ基金委員長ということですが、皆様のお陰で、目標だった800万を成し遂げることができました。バギオ基金は40年という長い歴史があります。米山に次ぐ長さです。バギオ基金については、他クラブに自慢できる功績だと思っているので、次年度以降も続けていきたいと思っています。ありがとうございました。



■会計 中村群一会員

毎月一回収支報告書を作成し、理事会に報告してまいりました。そして現金の出納については、銀行印を私が管理して確認し、幹事と二人で署名をしてまいりました。今年度は会費の未納が無いということで、皆様の御協力の賜物でございました。私が所属する東京税理士会は20億程度の会費のうち2000万円以上が滞納しているということです。次年度も未納がないようにと願っております。次年度は杉浦幹事が会計ということで大丈夫だと思います。ありがとうございました。



■クラブ奉仕委員会

基金活性化（クラブ基金）副委員長
職業奉仕委員会 委員長
佐藤大輔会員

クラブ基金については、新入会員も大勢いらっしゃる中、クラブ基金の説明書を配布いたしました。基金の詳細が記載されておりますので、ご一読していただけたらと存じます。次年度は高橋会員ですので、皆さん、言うことを聞いて行動して頂ければと思います。また、職業奉仕委員会については、今年の1月22日にフォーラムを行いまして、各社のCSRへの取り組みを発表していただくというやり方で職業奉仕とCSRを結びつけると解り易いかなということで行いました。次年度委員長は酒井会員ということなので、酒井会員のもと、特に若い会員の皆様は職業奉仕について学んでいただければと思います。ありがとうございました。

■クラブ奉仕委員会 基金活性化（ニコニコ）

今井忠委員

今年度は佐藤会長の方針にて今後迎える臨海RC創立30周年記念における特別寄付の積み立てとしてクラブ会員へ積極的な依頼をいたしました。多くの会員から多額の寄付をいただきありがとうございました。特に佐藤会長、杉浦幹事、高橋副会長からは多額にいただきました。ありがとうございました。また、多大なサポートをいただきました白幡会員、井上会員、柴田会員に心より御礼申し上げます。一年間ありがとうございました。次年度は、引き続きクラブ創立30周年記念の特別寄付に対して多くの寄付をいただけるようご尽力していただきますことを願います。同時に本来のニコニコボックス（別名スマイルボックス）の主旨をよく鑑み決して強制的なものとなつてはならないよう配慮をお願いいたします。明るく楽しい笑いの絶えない報告を切願いたします。よろしく願いたします。



■クラブ奉仕委員会

諸団体交流（新会員ピックアップ増強チーム）
本多信雄副委員長

私の想いをお伝えさせていただきます。昨年、我がクラブから臨海西RCを設立させていただきましたので、実質50名に近い団体になっております。諸事情ございまして現在41名ですが、今までの流れでいうと、26年前に創業した時、斉藤会員率いるJC関係、藤本さんが率いていた同友会関係、高橋会員率いる法人会関係、そして今は佐久間次年度会長率いるJC関係からの増強でした。この流れからいうと、次期は法人会のリーダー的存在の方をピックアップしてきて、その方が活性化していくということを次期の委員へご提案していきながら、活性化していきたいと思っております。また、新入会員の方で、活動のことがわからない方が多いかと思いますが、各活動に参加することですぐにわかってきますので、増強と共に活動自体も経験して頂ければと思っております。最後になりますが、他の江戸川区の会員数が少ないRCは非常に苦しい思いをしております。そこには私の友人も多く在籍していましたが、ほとんどが辞めています。その人たちが言っていたことは、役割が多すぎてそれが圧迫しているということでした。臨海RCはここを早く脱したので、これからも活動が負担にならずに楽しく活動ができるように次年度にも期待しております。



■親睦活動委員会 井上晴貴委員長

私は今年度2名の新入会員をご紹介させていただきましたが、活動としては、7月に新入会員歓迎会、12月忘年家族会、1月新入会員歓迎会を行いました。引継ぎにおいては、忘年家族会関連の書類が多いので、データで引継ぎさせていただきます。緻密な引き継ぎ書となっておりますので、次年度も引き続きバックアップさせていただきますので、よろしくお願いいたします。



■親睦活動委員会 レクリエーション 副委員長
国際奉仕委員会 姉妹クラブ 副委員長
酒井教吉会員

井上親睦委員長のフォローをいたしました。委員長が頑張っていたので、素晴らしかったです。親睦旅行の沖縄での3クラブ親睦が出来たのが大きかったです。また、独自にボーリング大会やバーベキューを催したかったのですが、今年度は未達成でしたので、次年度は皆が参加できるようなイベントをしてほしいと思います。また、親睦旅行を企画して頂きたいと思います。国際奉仕副委員長としてもフォローいたしました。台北仁愛33周年記念例会に7名で参加いたしました。サマーキャピタルとのプロダクトは見送りとなりました。また、バンコク

のスリオンRCと親しくなりましたので、友好クラブとして今後お付き合いできるのではないかと思います。



■親睦活動委員会 レクリエーション(二次会構成・ゴルフ幹事)
尾身治彦委員

臨海RCの活動円滑を目的に主にゴルフ大会を行いました。春のゴルフ会は、全てコロナの影響で中止となりました。次年度も引き続き会員間の親睦を図るためのものですので、二次会やゴルフ大会を催して行って頂きたいです。



■会場監督委員会 佐久間裕章委員長

例会製作の際に、会員が楽しめるような卓話をさせていただきました。小松会員のお兄様にお越しいただいた卓話ではお金の話をさせていただき、非常に楽しい例会だったのではないかと思います。また、例会の座席誘導も積極的に行いましたが、どうしても仲の良い会員同士が一緒になってしまう傾向がございました。次年度の席次は新入会員との交流が図れるような席次をお考えいただきたいと思います。



■会場監督委員会 例会制作（ソングリーダー）
櫻田誠一委員

明るく大きな声でご挨拶することを心掛け、歌が始まる前に少しお話もさせていただきました。例会のスタートを明るいものにするために必要なことだったのかなと思います。例会のスタートはとても重要な時間だと思いますので明るく澆漑としたスタートを切れるような時間にしていただきたいと思います。



■会場監督委員会 例会制作（ビジター）委員
青少年奉仕委員会 委員長
入澤昭彦委員

毎回30分前に到着してビジター受付担当が出席しているかを確認しておりました。若手が毎回してくれたのが良かったです。他のクラブのメイキャップでお越しの方やご友人の方をスムーズにお席へ誘導いたしました。次年度も頑張ってください。青少年奉仕委員会と致しましては、地区での研修会に積極的に参加して情報を得てクラブへ持ち帰れることを探しました。忘年家族会に元青少年交換学生や元米山奨学生などをご招待し、交流できました。また、オレンジボール大会は青少年奉仕活動でもあると捉え参加いたしました。次年度については、各奨学生とは長いお付き合いが大切だと考えておりますが、井上次年度青少年奉仕委員長であれば必ず良い結果となると思っております。



■会場監督委員会 例会制作（受付）
坂本秀夫委員

受付は例会の顔になりますので、皆様に対して適切なマナーでスムーズに会場へご案内できるよう事前対応し笑顔で対応することを心掛けました。次年度も笑顔で対応いただき、ご来賓へ良い印象を残せるよう努めて頂ければと思います。

■会場監督委員会 出席向上（出席不良者連絡）
地引智明委員

臨海RCを理解するには例会に出席をするのが一番だと思います。当日出席率平均は66.60%、訂正出席率は76.35%でした。メイキャップ期間が年度内と長くなったことの周知をもっとすればよかったです。次年度もよろしくお願いいたします。



■プログラム構成委員会（会報）勝間田健一委員長
これから担当していただく方のためにハードルを下げべくコンパクトにまとめようと思いましたが、これが大変でした。副委員長と分担しながら、そして事務局の佐藤さんにご協力いただきながらなんとか全うすることができました。引継ぎについては細かい仕様書として作成しておりますので、引継書だけでわからないことがあればいつでもご相談ください。



■プログラム構成委員会 プログラム 山田晃久委員
できるだけ多くの会員様に卓話していただくよう努めました。新入会員の方が多かったので、インシエーションスピーチが多かったですが、次年度も同様になるかと思えます。また、どうしても卓話に困った際には卓話者リストが事務局に備わっておりますので、奥の手としてご紹介しておきます。



■プログラム構成委員会（IT・公共イメージ）
篠塚慎之介副委員長

新設された公共イメージ委員の活動で他クラブの会員さんと交流があり、刺激になりました。また、週報作成サポートにおいては、文字お越しをすることで例会の復習にもなりよい習慣でした。次年度も同じ委員会に残るので引き続きよろしく願いいたします。

■社会奉仕委員会 大澤成美委員長
江戸川区民祭り及び江戸川区花火大会に臨海3RCとして協賛いたしました。オレンジボール大会を実施いたしました。らいおんハートにて移動例会を実施いたしました。パラボールフェスティバルの第一回を共催いたしました。また、フェイスシールド寄付金も拠出いたしました。次年度についても継続して実施していただきたいと思います。



■社会奉仕委員会 オレンジボール 坂本康朋委員
今年度は予選30チームの参加で、のべ600名以上の参加となりました。台風の影響で予定がずれたりもいたしましたが、次年度も引き続きよろしく願いいたします。



■社会奉仕委員会 らいおんハート 大西洋平委員
8月に移動例会を開催いたしました。食事をしながら支援内容について学びました。また多くの方にご寄付いただき大変感謝いたしております。子供食堂の常設について、鈴木会員を始め、皆様の御協力に感謝いたします。臨海西RCからも高級ミキサーを寄贈いただくなど、支援の輪が広がっているのも一つの特徴だと思います。次年度以降も移動例会を継続して頂きたいと思っております。当初の目的は学習支援でしたが、食事の支援も継続してまいります。



■社会奉仕委員会 ロータリー財団 小松啓祐委員
41名の内、30名の会員様よりご寄付いただくことができました。3年前の過半数割れの状態から3年続けて半数以上突破することが出来て使命を果たせたかと思っております。ロータリー財団というのは伝え辛い寄付だと思っておりました。直接の活動ではなく、自クラブで使用するものではないからです。それをうまく自クラブへ伝えられたらさらに良いと思っておりました。次年度においては、寄付にあたっての事前準備が非常に重要になるかと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



■国際奉仕委員会 舛本俊輔委員長
今年度は、12月の台北仁愛RC創立記念例会出席以外はコロナウィルスの影響で中止となってしまいました。そんな中での台北仁愛創立記念例会では、自クラブのメンバーとの深い親睦を図ることができました。また、少数での旅行もありましたが、バギオ訪問やハワイで開催の国際大会など中止が重なり残念であります。次年度は、是非、全てのイベントが行われることを願っています。

■青少年奉仕委員会（青少年交換）

村社研太郎副委員長

今年度は、青少年交換の受入れ、送出しともありませんでした。また、次年度は、青少年交換の活動が中止であります。

■講評 ガバナー補佐 田村純治様

クラブ協議会を次年度と一緒にやる事は非常によい仕組みだと感じました。クラブ奉仕部門の構成を変更されたのはとても良いことだと思っておりました。他クラブではクラブ奉仕委員会が無くなるクラブが沢山出てきておりますので、地区でもなくしてはならないと支援して参ります。ロータリーは友情が基本ですので、皆さんが参加して友情と親睦を深めることが非常に大切なことだと思っております。コリンズさんは、自分がもし死んで困ったことがあったら、ミネアポリスRCへ相談しろと言ったそうです。そのような場にしていきたいと思っております。そして、最後は皆のためになることをするのがロータリー活動なのではないかと思っております。ロータリークラブの特徴は、毎年役割が変わります。これも特徴です。臨海RCは増強がすごいということで目立ってきておりますので、これからもロータリークラブの為にぜひ楽しみながら頑張りたいと思っております。一年間ありがとうございました。

■閉会挨拶 高橋映治副会長

退 任 挨 拶



東京臨海ロータリークラブ
会長 佐藤 正樹

会員皆様から多大なるご理解・ご協力・ご指導を頂けたことで、無事に会長を務めることができました。誠にありがとうございました。改めまして深く御礼申し上げます。

そして、日頃より私を近くで支えてくれた大変優秀な杉浦幹事・高橋副会長・事務局 児玉さんに改めて深く感謝申し上げます。

私の年度ターゲットは「友情を育み、地域社会に貢献する」とさせて頂いておりました。

自クラブの活性化（例会の充実、出席率の向上、会員増強、親睦活動の充実）、職業奉仕・地域社会貢献に力を注いできました。

委員会構成表の一新、新入会員の更なる増強、新たな社会貢献事業である第1回パラポールフェスティバルの共催、そして、臨海東ロータリークラブ、臨海西ロータリークラブとの関係強化を図ってきました。

年始からは新型コロナウイルスの影響により、多くの行事が開催できなかったことが唯一悔やまれますが、これも良い思い出となると考えるようにしております。

皆様からのお力添えのおかげで、私自身が成長する機会を頂戴したこと、心より感謝しております。

今後も皆様との友情を深め合い、輝かしく誇らしい東京臨海ロータリークラブを皆様とともに作り上げていく為、微力ながら尽力させていただきます。

1年間誠にありがとうございました。『感謝』



東京臨海ロータリークラブ
副会長 高橋 映治

会員の皆様には本当にお世話になりました。色々あった一年間ですが、すっかりコロナで吹き飛ばされてしまいました。

次年度への引継ぎも出来ないまま自肅から緊急事態宣言下での例会中止、理事会も中止で、次年度の新任理事さん達の貴重な場である次年度との合同理事役員会も満足に実施することが出来ませんでした。

それが悔やまれますが、それでも私は満足しています。危機の時には実力が出来ます。緊急時でも、杉浦幹事が立派にクラブを運営し、佐藤正樹会長が立派にクラブの方向性を決断しました。素晴らしい息の合った会長幹事の二人でした。二人のお陰で充実したクラブ運営が出来たと思います。

佐藤正樹会長、杉浦幹事、本当にお疲れ様でした。



東京臨海ロータリークラブ
幹事 杉浦 孝浩

皆様のおかげで大変楽しいロータリー活動が出来た事を大変感謝しております。

幹事としてはまだまだ十分な働きは出来ていなかったと反省が多々ありますが、佐藤会長の素晴らしさを身近で感じる事が出来、今後の人生の良き経験となった事は素晴らしい財産です。また、何でも相談出来る高橋副会長はとても心強かったです。事務局児玉さんには本当に沢山の教を頂きました。何より、会員皆がとても身近に感じる事が出来た1年でした。皆さんと深く関わって本当に楽しかったです。

幹事という役割はもちろん、やるべき事が多いです。しかしとてもクラブ愛が深まる経験が出来ます。そんな経験をこれからの幹事に伝えていければ私の意味があると思っております。

今後も、一層クラブ愛を深めて運営や親睦に積極的に参加させて頂ければ幸いです。本当に皆さん1年間ありがとうございました。坂本幹事！バトンを渡します。